

「多発性筋炎と皮膚筋炎における悪性腫瘍合併の予測因子および最適なスクリーニング方法に関する後方視的観察研究」

【はじめに】

多発性筋炎および皮膚筋炎(PM/DM)は悪性腫瘍を高率に合併することが知られています。しかし、どのような検査(例えばCTや胃カメラ、大腸カメラなど)を何回繰り返し実施するのが望ましいのかは、定まった見解がありません。また、PM/DMの患者さんの中でも、悪性腫瘍を発症しやすい方とそうでない方がいることも最近の研究判ってきましたが、事前にそれを見極める手法は確立していません。

今回、当研究では当院の受診歴のある患者さんの過去のデータを集計し、どのPM/DM患者さんで悪性腫瘍が出現したかを解析します。これにより最終的には、悪性腫瘍を発症し易い患者さんを事前に選別する方法や、悪性腫瘍を探す最適な検査手段(検査の種類や頻度)を考案できるようになることを目的としています。

【対象】

1990年4月1日から2020年12月31日までに別府医療センター リウマチ・膠原病内科に入院または外来受診したPM/DM患者さん。

【研究内容】

PM/DM発症時の患者さんの診療記録(情報:年齢、性別、身体症状、血液検査データ、画像検査データ、薬物治療の内容など)を調べさせていただきます。また、その後患者さんが悪性腫瘍を発症したか否かを、診療記録を基に調べます。

【個人情報の管理について】

本研究は「ヘルシンキ宣言」および「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に従って実施します。個人情報の漏洩を防ぐため、臨床研究に関する氏名等の個人情報は削除し、第三者が個人情報を閲覧できないようにしております。

また、本研究の実施過程、および結果の公表(学会発表、論文発表)の際には、患者さんを特定できる情報は一切含まれないように配慮しています。

尚、本研究に情報を利用することをご了承いただけない場合には研究対象と致しませんので、下記連絡先までお申し出ください。

【研究期間】

倫理審査委員会承認日より2021年12月31日迄

【医学上の貢献】

PM/DM患者さんに合併する悪性腫瘍を早期に効率よく診断する方法の開発につながるかと考えております。

【研究責任者】

国立病院機構 別府医療センター リウマチ・膠原病内科

氏名 鳥越 雅隆

連絡先: 〒874-0011 別府市大字内かまど 1473 番地

電話: 0977-67-1111 FAX: 0977-67-5766